

# University Dentist としての 40 年をふりかえって

小野高裕



<ご略歴>

- 1957 年 兵庫県芦屋市に生まれる
- 1983 年 広島大学歯学部卒業、大阪大学歯学部歯科補綴学第二講座入局
- 1987 年 大阪大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）
- 1988 年 大阪大学歯学部助手
- 1995 年 大阪大学歯学部附属病院講師
- 1998 年 大阪大学歯学部助教授
- 2014 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授（包括歯科補綴学分野）
- 2017 年 新潟大学評議員、医歯学系副学系長、副歯学部長
- 2023 年 大阪歯科大学専任教授（高齢者歯科学講座）

同門会の皆さま、お久しぶりです。

広島大学を卒業して第二補綴へ入局させていただき、今年でちょうど 40 年が経ちました。その間、二補に 30 年余りお世話になった後、新潟大学に赴任して 8 年余り勤め、今年の 1 月から大阪歯科大学高齢者歯科学講座に専任教授として勤めております。こうして振り返ってみますと、中之島から始まった歯科医師人生は、山田丘から遠くにも行きましたが、結局天満橋に戻ってきたので、ちょっと川を遡っただけかも知れません。

つい先日、新潟で退職記念会を催していただいた時のことです。阪大歯学部 32 回生の増田裕次先生（松本歯科大学教授、日本咀嚼学会理事長、日本顎口腔機能学会会長）がスピーチで、「僕が 4 年生でファントム（義歯模型実習）に出た時、小野先生は新人ライターで、実習室の隅っこでポツンと寂しそうにしてはりました。他のライターから『あいつよそから来て何もわからへんから、お前らで教えてってくれ』と言われましてね（笑）」と、僕の「原点」を暴露してくれました。そんな頼りないところから、厳しく（時にはやさしく）二補で鍛えていただき、おかげさまでなんとか曲がりなりに大学の歯医者（University Dentist）として今日までやって来れたことに、感謝の言葉しかありません。

しかし、それだけだと講演になりませんので、色々と思い出しながら、新潟大学でどのようにやってきたかを同門会の皆さまに報告させていただきたいと思います。歯科医学や歯科医療の未来を感じさせるような話…にはならないかと思いますが、どうかお気楽に聞いていただければ幸いです。